

淡路島ぐるりんロード

8月14日(土) ~ 8月17日(火)

IN 国立淡路青少年交流の家、民宿『西田荘』

	午前	午後	夜
1日目	淡路島に向けて出発 ぐるりんスタート	ぐるりんサイクル 施設到着	振り返り
2日目	グループタイム	レクリエーション大会	振り返り
3日目	ぐるりんサイクル	ぐるりんサイクル 民宿到着	BBQ・振り返り
4日目	ぐるりんサイクル	淡路島を出発・解散	

一日目： 悪天候の為、一日遅らせて開催致しました。朝から雨模様ですが、皆はやる気十分で、誰一人文句を言われる事なく意気揚々とされていました。明石駅に到着し、今回使用する自転車を借り、明石港からフェリーに乗り、淡路島へ向かいました。淡路の空はそこまで悪天候ではなく、天気は我々に味方しています。今回は初日に施設まで向かいます。走り始めたメンバーは雨にも負けず、前だけを向いて走っていました。雨というコンディションが逆にメンバーの真剣さを引き立て、誰一人ふざける事なく走る姿から「彼らなら出来る」と感じさせられました。予定より早く洲本市を越え、南あわじ市に入りました。途中の休憩ポイントでは、「足が…」と嘆いている方もおられましたが、それでも頑張っって漕いでおられました。そしてついに目的地の施設に到着しました。感動よりも疲れが勝っているようで、大喜びとはいきませんでした。表情は晴れやかでした。夕飯を済ませると一日の振り返りです。自分達のグループはどうなりたいのか、どこに向きたいのかを話し合いました。毎夜行うので、しっかり、深く話し合っていました。



二日目： 昨夜はぐっすり休まれたのでしょう、朝から元気な声が聞こえてきました。朝食は野外炊事の“カートンドッグ”を作り、いただきました。午前中は疲れを取るためにお休みとし、振り返りの続きをしたり、休んだり、談笑したりして過ごしました。体を動かしたい方もおられたので、午後からは“ポートボール”を行いました。汗いっぱい流してクタクタになるまで動き回りました。少し休憩を挟んで、皆で【焼きそば】を作りました。焼きそばはテンポが大切なので、グループ内で係を分けて行いました。切って、炒めて、盛り付けて、と焦げないように美味しく調理しました。夜は昨夜同様、振り返りです。昨夜に決めた内容から、更に良くするために新たな目標を設定しました。明日はそれを掲げて、後半走り出します。



三日目： 今日から後半がスタートします。朝から多少の疲れは見えますが、走る気持ちは十分にあり、早く走りたいと訴えておられました。朝食を済ませ、振り返りの確認をしたら出発です。今回は距離としてはさほど遠くはないのですが、山と丘を越えなければならないので、踏ん張り所です。急な坂に差し掛かった時、遅れそうなメンバーに向けて必死に声掛けをしたり、荷物を代わりに持ったりして助け合う姿が見られました。“道の駅うずしお”にて昼食を済ませると、残りもあと少しです。どちらのグループも弱音を吐くことなく走り続けました。そして、この日の目的地である、【西田荘】に到着しました。かなりお疲れの様子で、部屋に入るとすぐに横になり休憩をされていました。夕飯は皆でBBQをしました。これまでの頑張りの労いも含め本当に楽しそうで、終始笑顔にされていました。寝る前に西田荘さんの計らいで、“かき氷”と“ポップコーン”をいただきました。これまで見せたことのない笑顔で皆喜ばれていました。



四日目： 朝はとても静かでした。こちら側が起こすまでしっかりと休まれていて、起きると元気に動き出されました。西田荘さんで朝食をいただき、雨が降りしきる中、一斉にスタートしました。雨が降っている事に対して、誰一人文句や悲観されず、ただゴールを見つめて頑張ろうという想いを十分感じ取る事が出来、初日に比べて確かな成長を感じました。初日に劣らない雨量の中、一人一人が意識をし、注意を払い、皆を想い、走り続けました。昼食は初めて自分達で購入し、いただきました。この時は緊張から解放され、笑顔いっぱい美味しく食べておられました。午後雨足は止むことはありませんが、メンバーの意識は高く、ひたすら走り続けました。明石の街並みが見えてくると気持ちも昂り、足に力が入ります。そして、ゴールの指標である【明石海峡大橋】が見えると、声をあげて喜ばれていました。最後のコンビニで少し休憩を挟んだらラストスパートです。ゴールの岩屋港が見え、ついに戻ってきました。達成感より疲れの方が勝っており、あまり感動や達成感を露にされませんでした。それでも笑顔が漏れ、嬉しい気持ちがこちらまで十分に伝わってきました。フェリーに乗り、自転車を返却し、明石にて解散です。三日前の皆さんの表情とは全く異なり、逞しく、一段、二段お兄さん、お姉さんへとご成長されている姿がそこにありました。



<キャンプ総括>

今年は五日間の予定を悪天候の影響で、四日間に減らし行いました。それでも終日天候は悪く、初日と最終日は雨の中走り続けました。事故や怪我はなく、無事に走り終える事が出来ました。結果的に同じ環境下で走る事になったのですが、メンバーの様子に雲泥の差を見ることが出来ました。初日はどこか浮わついた気持ちがチラホラ伺え、危ない場面も何度かありました。また、気持ちも疲れと比例し、落ちていき、終盤は皆無言で走り続けていました。それに比べ最終日は、出発前から掛け声や確認をメンバー同士が行い、走行中も体力面の確認や気持ちを上げる為の声掛けが見られました。雑談や談笑はされていませんでしたが、お互いを見ており、【言わずもがな】という関係が出来ており、安心して走りを任せ、見ていられました。この四日間で一人一人にとって大きな成長があり、それを自発的に行動や発言として皆に伝えておられました。後日、親御様から、お子様が「楽しかった!!」と何度も感想を聞くと仰っていただきます。メンバーにとって楽しいことよりも辛い事の方が絶対に多いはずなのに、それでも楽しいと仰られる事に、キャンプで体験した事がしっかりと浸透し、沢山の学びや気づきを理解、会得されたと認識しています。最後となりましたが、開催日程変更により、沢山のご迷惑と悪天候によるご心配をお掛けした事に心からお詫び申し上げ、またその中にも関わらずご参加いただき、本当にありがとうございました。また一緒に淡路島を走りましょう!!

(竹中 哲郎)